
2006年度 決算説明会

2007年 5月14日



三菱ガス化学株式会社

本日の出席者

取締役社長

小高 英紀

機能化学品カンパニープレジデント

梅村 俊和

特殊機能材カンパニープレジデント

宮坂 一博

芳香族化学品カンパニープレジデント

塚本 耕三

天然ガス系化学品カンパニープレジデント

上石 邦明

財務経理センター長

畑 仁

本日の進行次第・配付資料

進行次第

1. 2006年度決算
2. 質疑応答

配付資料

- ・スライドコピー
- ・決算説明会参考資料
- ・2006年度決算短信
- ・ニュースクリッピング集
- ・アンケート用紙

連結 2006年度実績

【億円】

	2006年度	2005年度	増減
売上高	4,826	4,398	428
営業利益	422	390	32
(持分法利益)	(232)	(151)	81
経常利益	617	504	113
税前利益	526	441	85
当期純利益	400	329	71

有利子負債	1,639	1,618	21
期末総資産	6,100	5,645	455
D/Eレシオ	0.58	0.64	▲0.06
ROA*	10.5%	9.5%	1.0%

* 経常利益ベース

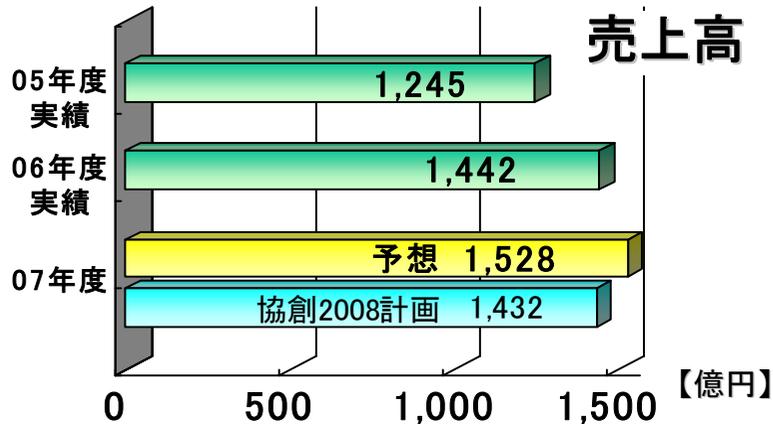
- マキシレン系芳香族化学品、電子工業用薬品、ポリカーボネートシート・フィルム、電子材料等の販売数量が増加。一方、パラキシレン、フタル酸等は事業再編により大幅減少。
- その結果、原燃料・仕入価格上昇による単価因果が主な増収要因。
- 修繕費等の固定費増加、コエンザイムQ10の採算悪化により、32億円の営業増益に止まる。
- 市況高騰に伴うメタノール生産会社の増益、三菱エンジニアリングプラスチックスの特別配当計上により、持分法利益は大幅増加。
- 特別損益は▲91億円（前期比▲28億円）。固定資産の残存価額見直しに伴う減価償却費88億円を特別損失に計上。

セグメント別 連結 2006年度実績

【億円】

	2006年度	2005年度	増減
売上高	4,826	4,398	428
天然ガス系化学品	1,442	1,245	197
芳香族化学品	1,347	1,302	45
機能化学品	1,431	1,250	181
特殊機能材	711	685	26
その他	11	14	▲3
消去または全社	▲116	▲98	▲18
営業利益	422	390	32
天然ガス系化学品	25	54	▲29
芳香族化学品	74	57	17
機能化学品	172	137	35
特殊機能材	145	135	10
その他	5	4	1
消去または全社	1	3	▲2

天然ガス系化学品



2006年度実績

メノール

期初より高値で推移した市況は、各社プラントトラブルの影響で下期高騰し、大幅増収。海外メノール会社の持分法利益も増加。

メノール・アンモニア系化学品

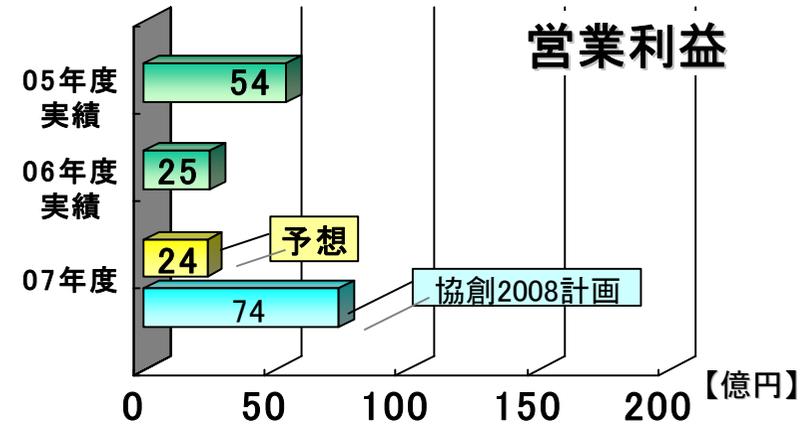
全般に需要好調も、原料メノールの高騰による一部製品の採算悪化、定期修繕等による固定費増加、探鉱費の会計処理の変更により減益。

酵素・補酵素類

コエンザイムQ10は競合他社の増産や中国品の安値攻勢により市況下落、減益。

天然ガス・エネルギー販売

原油価格の高止まりにより、好調。



2007年度予想

中国を中心に需要は好調も、他社プラント稼働が予定されており、市況は緩やかな低下を見込む。持分法利益は前期をやや下回る見込み。

下期メノール価格の低下、固定費の減少により営業利益改善。好調なネオペンチルグリコールは能力増強を計画。南京のメノール誘導品製造会社は9月完工、11月商業運転開始。

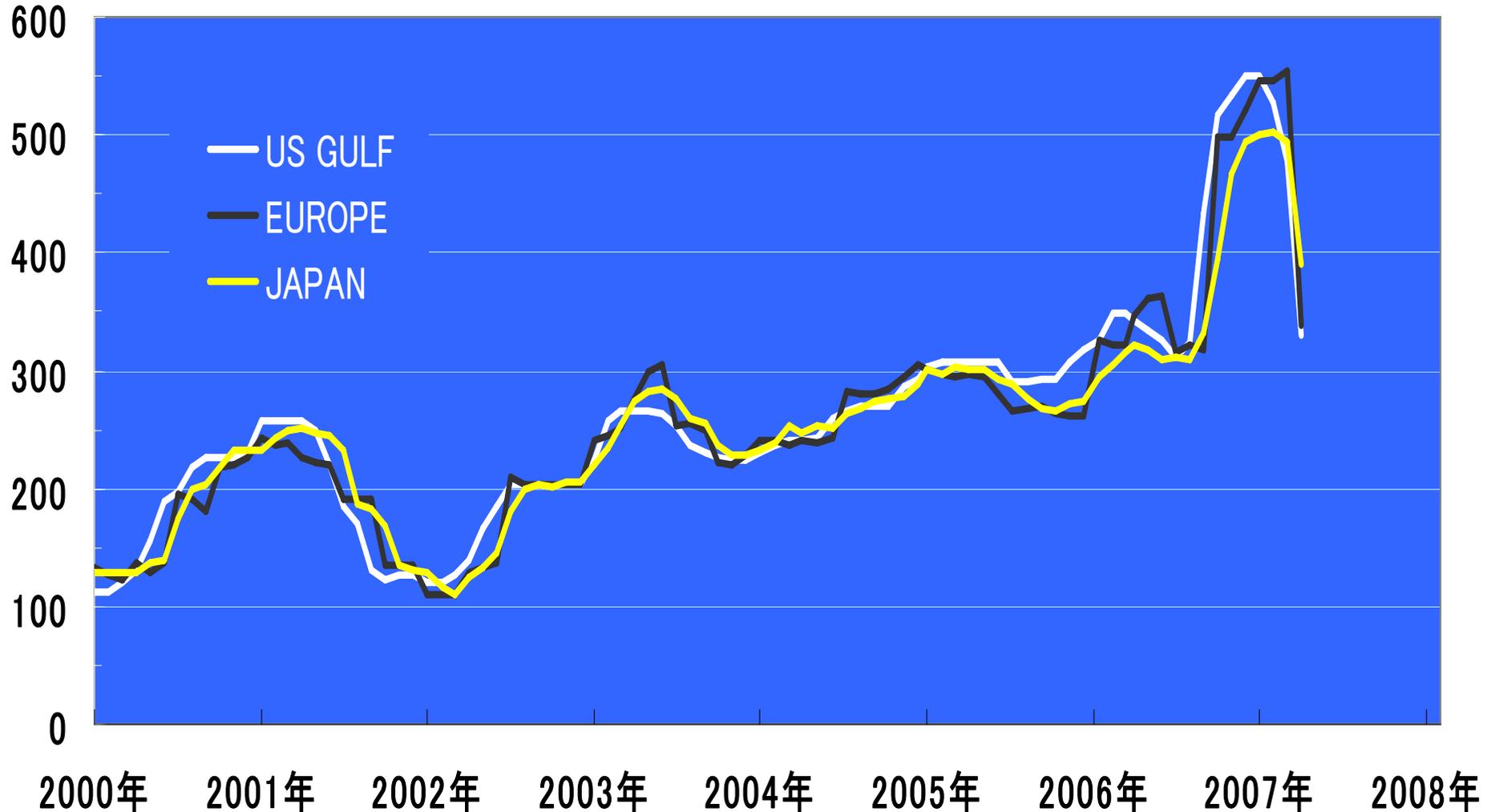
コエンザイムQ10は厳しい状況が続く。

原油価格は前期より低く想定。

天然ガス系化学品

メタノール価格の推移

(US\$/MT)

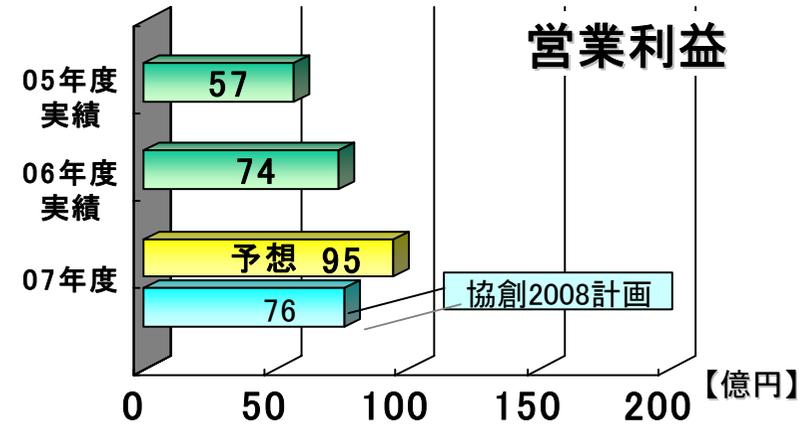
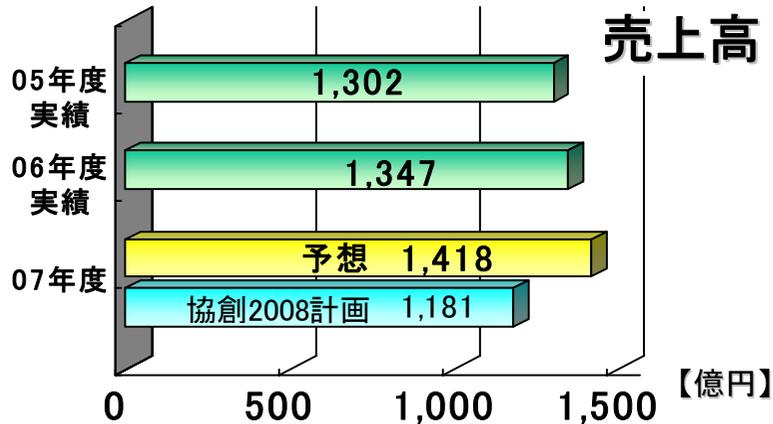


天然ガス系化学品

設備投資・製品開発動向

件名	動向	備考
メタノール	サウジアラビア 170万t/y、建設中（2008.1Q完工） ベネズエラ 85万t/y、決定（2009.3Q完工） ブルネイ 85万t/y、決定（2009.4Q完工） 重慶 85万t/y、FS中	
アミン	菱天(南京)精細化工有限公司 新設 DMF 4万t/y、DMAC 1万t/y、建設中（2007.9完工）	
ネオペンチルグリコール	増強 3.5 ⇒ 4.5万t/y、計画（2007中頃完工）	水島工場内
スピログリコール(SPG) ジオキサングリコール (DOG)	新設(併産プラント) 1,500t/y、建設中（2008.2稼働）	用途> SPG: 酸化防止剤など DOG: UV硬化樹脂など
ジメチルエーテル(DME)	燃料DME製造 新設 8万t/y、決定（2008.6生産開始）	新潟工場内
コエンザイムQ10	新設 40t/y、稼働済み（2006.10 営業運転開始） 水溶性製品を2007年度より予算化	新潟工場内 *MGCの既存設備と合わせ 生産能力70t/y
特殊アミノ酸	新設、建設中(2007.12完工)	新潟工場内 用途> 医薬品中間体
ピロロキノリンキノン(PQQ)	健康食品素材として、早期事業化を推進中	

芳香族化学品



2006年度実績 (対2005年度)

➤ 汎用芳香族化学品

原燃料価格高騰に伴う製品価格上昇も、キシレン事業の再編によるパラキシレン、オルソキシレン、無水フタル酸の販売数量減少により減収。

➤ 特殊芳香族化学品

メキシレンジアミン、MXナイロンを中心に販売数量増加も、原燃料高による採算悪化で微減益。MGCアドバンストポリマーズは販売数量増加。エイ・ジイ・インタナショナル・ケミカルはイソフタル酸の需要拡大により大幅な増収・増益。

2007年度予想 (対2006年度)

キシレン事業の再編に伴い、パラキシレンは水島アロマ向け仕入販売のみとなる。

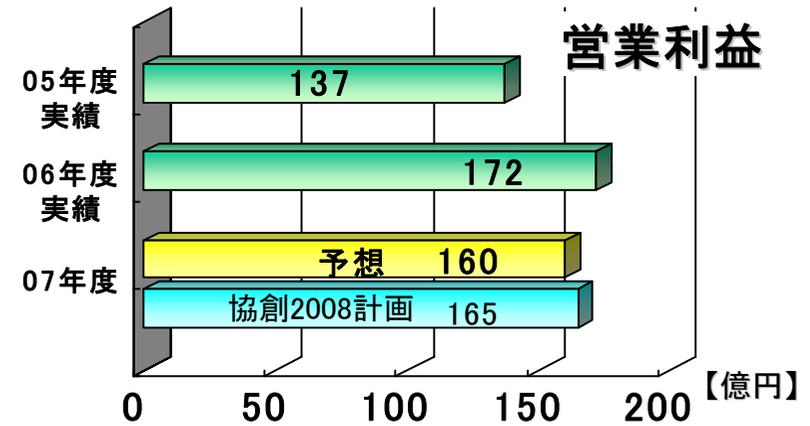
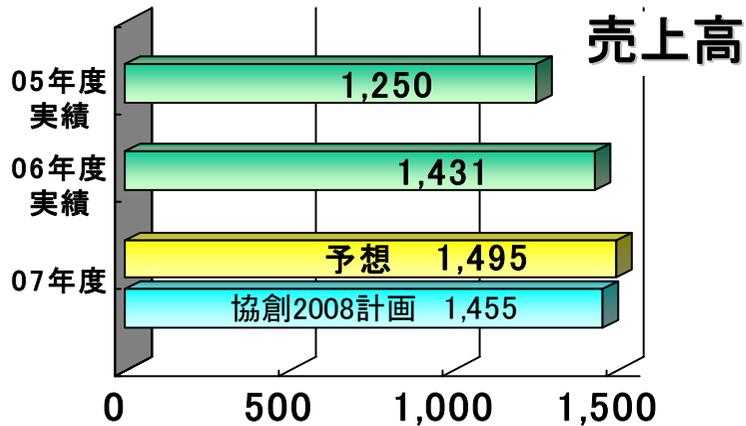
原料価格動向が懸念されるがメキシレンジアミン・MXナイロンを始め、積極的に拡販。メキシレンジアミン新設プラントは9月完工。エイ・ジイ・インタナショナル・ケミカルはフル生産を継続。

芳香族化学品

設備投資・製品開発動向

件名	動向	備考
メタキシレン	増強 12 ⇒ 14万t/y、稼働済み（2007.3～） 増設を検討中（2009.1Q完工）	水島工場
メタキシレンジアミン	新設 2万t/y、建設中（2007.9完工）	水島工場
高純度イソフタル酸	エイ・ジイ インダシヨナル ケミカル 増強 10万t/y規模（2008.2完工）	水島工場 * ペットボトル向けを中心に需要が急拡大
高耐熱性無色透明 ポリイミドフィルム 「ネオプリム®」	新設 5,000m ² /月、建設中（2007.6完工）	セミマーシャルプラントとして平塚研究所に建設 用途：透明電極基板 （電子ペーパー、光センサー、太陽電池等） 特徴：高耐熱性、無色透明
ガスバリアー性接着剤 「マクシーブ®」	市場開発を推進中	用途：食品包装、ほか 特徴：ガスバリアー性を備えた接着剤
新規制振材料 「ネオフエード®」	市場開発を推進中	用途：制振材料、防音材料 特徴：振動エネルギーを効率よく吸収する ポリエステル系材料

機能化学品



2006年度実績 (対2005年度)

➤ 工業用無機薬品

過酸化水素は需要堅調で販売数量増加も、原燃料価格の上昇で減益。レンズモノマーは販売数量増加で増収・増益。

➤ 電子工業用薬品

ウエハーメーカー、デバイスメーカー向けとも堅調。半導体・液晶向けELMクリーンが数量増で増収・増益。

➤ エンジニアリングプラスチック

原料価格上昇により若干の採算悪化も、電気・電子、自動車用途を中心に需要好調で増収。PCシート・フィルムはFPD向け等が好調で販売数量増加。

2007年度予想 (対2006年度)

過酸化水素は国内需給が一段と締まる見通し。採算の改善を目指す。

半導体・液晶市場の成長に合わせ数量増加も、一部製品では販売価格低下を見込む。

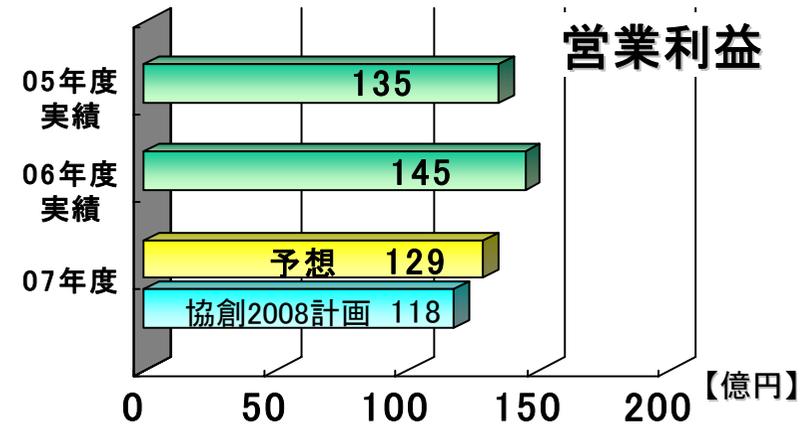
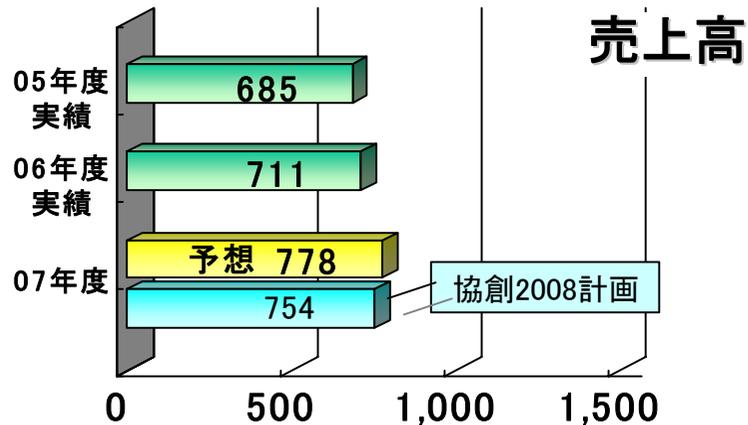
PCはビスフェノールA価格上昇も、需要好調で収益改善。POMはメノール高止まりの前提で前期を下回る。PCシート・フィルムは需要好調も償却負担増加。

機能化学品

設備投資・製品開発動向

件名	動向	備考
過酸化水素 化学研磨液	中国 新設、FS中（未定）	
ポリカーボネート	鹿島工場 増強 10 ⇒ 11万t/y、稼働済み（2006. 6～） タイ 増強 14 ⇒ 16万t/y、稼働済み（2006. 6～） 上海 新設、FS中（2009）	
ポリアセタール	タイ 増強 5.5 ⇒ 6万t/y、稼働済み（2006.11～） 韓国 増設 8千t/y、稼働済み（2007.4～）	
ポリカーボネート シート・フィルム	MGCフィルシート 増設 1,200t/y、建設中（2007. 6稼働） 東京開発センター内にシート・フィルムセンターを設立（2007.7）	増設対象はハードコートシート
次世代 フォトレジストモノマー	四日市工場 新設 50t/y、稼働（2006. 7～）	用途：ArF対応フォトレジストモノマー、ほか 特徴：独自の製造技術
オリゴフェニレンエーテル (OPE)	四日市工場 新設 300t/y、稼働（2006. 7～）	用途：電子材料（高周波・高速通信 向け積層板・ビルドアップ材料） 合成樹脂の添加剤 特徴：低誘電性、高耐熱性、 低吸湿性、高相溶性
歯科用漂白材 「ピレーネ®」	2006.11より販売開始 海外展開も検討	用途：歯科医院にて行う歯牙の漂白 （ホワイトニング） 特徴：処置に伴う刺激が少ない 「自然な白さ」を実現

特殊機能材



2006年度 実績

➤ 電子材料

銅箔など原材料価格高騰も、需要増加と価格は正で前期を上回る。半導体パッケージ向けBT系材料は下期以降在庫調整も、通期では販売数量微増。エポキシ系材料は高性能製品へシフト。LEシートは順調。

➤ 脱酸素剤

食品向け内販が競争激化で前期並みも、輸出および非食品用途向けが好調で増収・増益。エージレスタイは設備増強完工、10月より一部で商業運転開始。

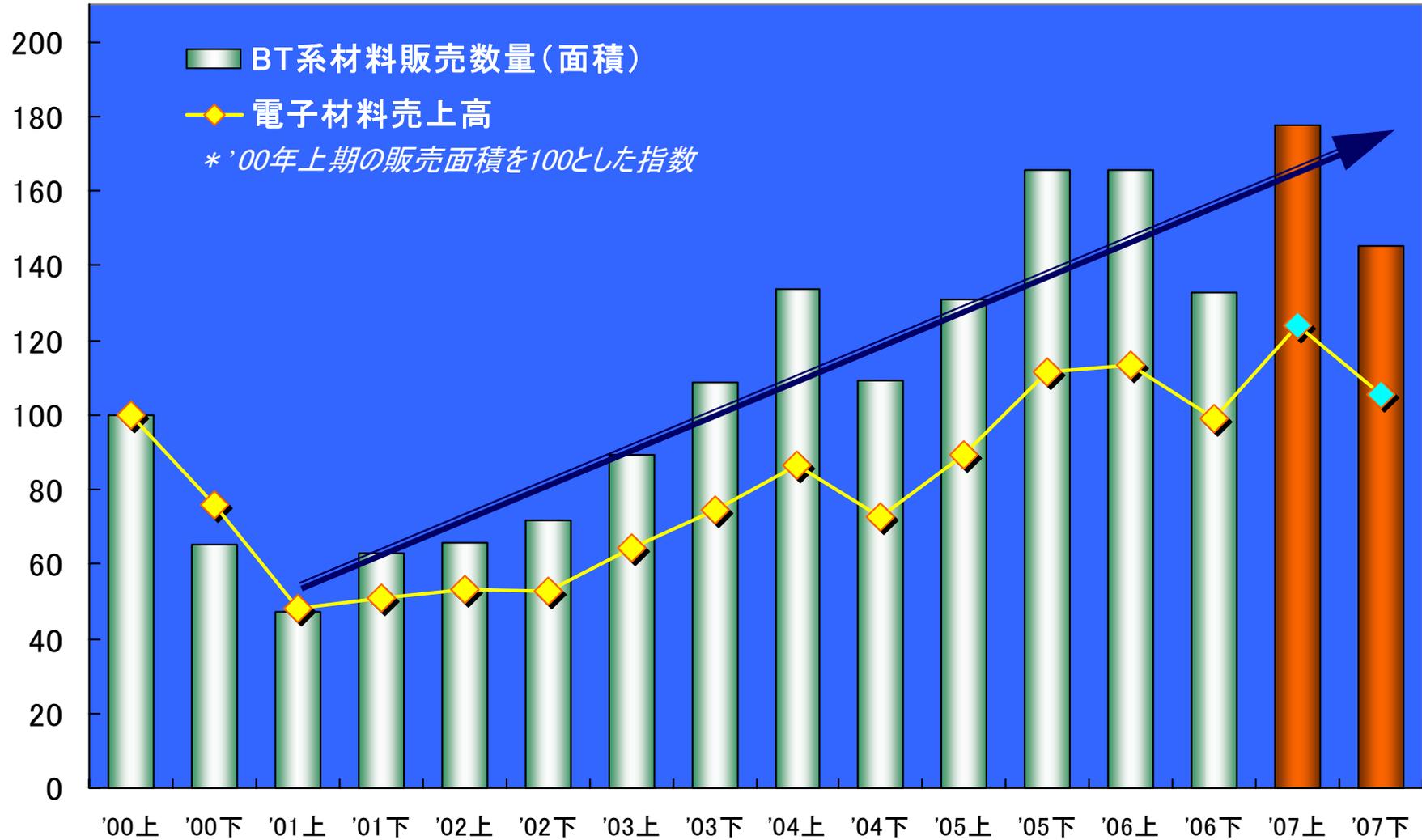
2007年度 予想

BT系材料は半導体市場の成長に合わせ販売数量増加を見込むも、価格は軟化。LEシートは用途拡大で販売数量増加。エレクトロテクノ増強は10月完工、商業運転は年明け以降。

エージレスタイは4月よりフル生産に移行。原価低減を見込むも、食品向け汎用品の競争激化により前期を下回る見通し。

特殊機能材

電子材料売上高・BT系材料販売数量の推移



連結 2007年度予想

【億円】

	2007年度 予想	2006年度 実績	増減	協創2008 2007年度 計画
売上高	5,100	4,826	274	4,719
天然ガス系化学品	1,528	1,442	86	1,432
芳香族化学品	1,418	1,347	71	1,181
機能化学品	1,495	1,431	64	1,455
特殊機能材	778	711	67	754
その他・消去	▲119	▲105	▲14	▲103
営業利益	400	422	▲22	434
天然ガス系化学品	24	25	▲1	74
芳香族化学品	95	74	21	76
機能化学品	160	172	▲12	165
特殊機能材	129	145	▲16	118
その他・消去	▲8	6	▲14	1
(持分法利益)	(200)	(232)	▲32	127
経常利益	550	617	▲67	527
税前利益	550	526	24	523
当期純利益	400	400	0	360

➤ 為替前提 115¥/US\$

➤ 2007年度より親会社の償却方法を定額法 ⇒ 定率法に変更。また、定率法の償却率も変更。これにより減価償却費は変更前と比べ +45億円。単体では+38億円。

➤ 持分法利益は、メノール生産会社は前期並も、三菱エンジニアリングプラスチックスの配当収入減少により減益。

➤ 2007年度配当金は中間、期末とも7円。

お問い合わせ先

三菱ガス化学株式会社
広報IR部(佐藤、織戸、興石)
TEL 03-3283-5041
FAX 03-3287-0833
<http://www.mgc.co.jp/>
E-mail: mgc-info@mgc.co.jp

<見通しに関する注意事項>

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

1. 連結貸借対照表

(単位:億円)

	2006年度 期末	2005年度 期末	増減	増減率	メモ
現金及び預金	366	294	72	24.5%	
受取手形・売掛金	1,518	1,286	232	18.0%	増加理由：売上高の増加など
有価証券	64	124	△ 60	△48.4%	
棚卸資産	661	555	106	19.1%	
その他流動資産	150	164	△ 14	△8.5%	
＜流動資産計＞	2,759	2,423	336	13.9%	
有形固定資産	1,530	1,482	48	3.2%	増加理由：設備投資295、減価償却 286、連結子会社の増加
無形固定資産	29	33	△ 4	△12.1%	
投資その他の資産	1,782	1,707	75	4.4%	増加理由：持分法適用会社の剰余金の増加
＜固定資産計＞	3,341	3,222	119	3.7%	
資産合計	6,100	5,645	455	8.1%	
支払手形・買掛金	969	875	94	10.7%	
有利子負債	1,639	1,618	21	1.3%	
その他負債	565	559	6	1.1%	
負債計	3,173	3,052	121	4.0%	
資本金・資本剰余金	775	775	0	0	
利益剰余金	1,887	1,543	344	22.3%	増加理由：当期純利益 400億円
自己株式	△ 41	△ 40	△ 1	2.5%	
＜株主資本計＞	2,621	2,278	343	15.1%	
その他有価証券評価差額金	220	260	△ 40	△15.4%	
繰延ヘッジ損益	2	-	2	-	
土地再評価差額金	2	2	0	0%	
為替換算調整勘定	△ 9	△ 28	19	△67.9%	
＜評価・換算差額等計＞	215	234	△ 19	△8.1%	自己資本比率：2005年度 44.5%、2006年度末 46.5%
＜少数株主持分＞	91	81	10	12.3%	
純資産計	2,927	2,593	334	12.9%	
負債及び資本合計	6,100	5,645	455	8.1%	

2. 連結キャッシュフロー

(単位: 億円)

	2006年度	2005年度	増減	メ モ (2006年度の主な内訳)
現金・現金同等物の期首残高	406	287	119	
営業活動によるCF	218	360	△ 142	税前利益526億円、持分法利益 232億円、減価償却費286億円、 運転資金 204億円、法人税等支払 161億円
投資活動によるCF	△ 140	△ 152	12	設備資金 238億円、投融資資金等98億円
財務活動によるCF	△ 88	△ 99	11	借入金・社債増減 24億円、配当金支払 65億円
現金・現金同等物に係る換算差額	△ 1	9	△ 10	
現金・現金同等物の純増減額	△ 11	118	△ 129	
合併による現金・現金同等物増加額	8	-	8	2006年4月1日付けで日本フタリック㈱を合併
連結追加による期首現金・現金同等物増減	10	1	9	2006年度下期より日本バイオ㈱を連結
現金・現金同等物の期末残高	413	406	7	

3. 各種指標推移(連結)

(単位: 億円)

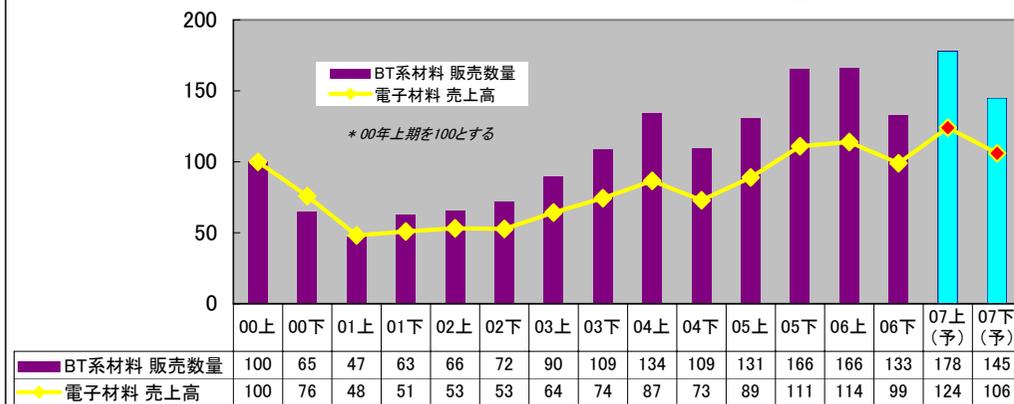
	2005年度 実績	2006年度 実績	2007年度 予想	増減			増減率		
				04→05	05→06	06→07	04→05	05→06	06→07
設備投資額 (うち上期)	175 71	295 147	530 290	△ 11 60	120 76	235 143	△ 5.9% 83.1%	68.6% 107.0%	79.7% 97.3%
減価償却費 (うち上期)	188 90	注) 198 91	255 115	△ 6 △ 2	10 1	57 24	△ 3.2% △ 2.1%	5.3% 1.1%	28.8% 26.4%
研究開発費 (うち上期)	106 53	115 58	123 61	△ 1 0	9 5	8 3	△ 0.9% 0.0%	8.5% 9.4%	7.0% 5.2%
人員 (年度末時点)	4,466人	4,561人	4,740人	40	95	179	0.9%	2.1%	3.9%
一株当り 当期利益	71.0円	86.6円	86.5円	20.6円	15.6円	△ 0.1円			
ROA (総資産経常利益率)	9.5%	10.5%	8.8%	1.7pts	1.0pts	△ 1.7pts			
ROE (自己資本経常利益率)	22.2%	23.1%	18.4%	2.5pts	0.9pts	△ 4.7pts			
配当額 (うち上期)	10.0円 4.0円	14.0円 6.0円	14.0円 7.0円	4.0円 1.5円	4.0円 2.0円	0.0円 1.0円			

注) 2006年度の減価償却費は、特損に計上した88億円を除いた額となっております。

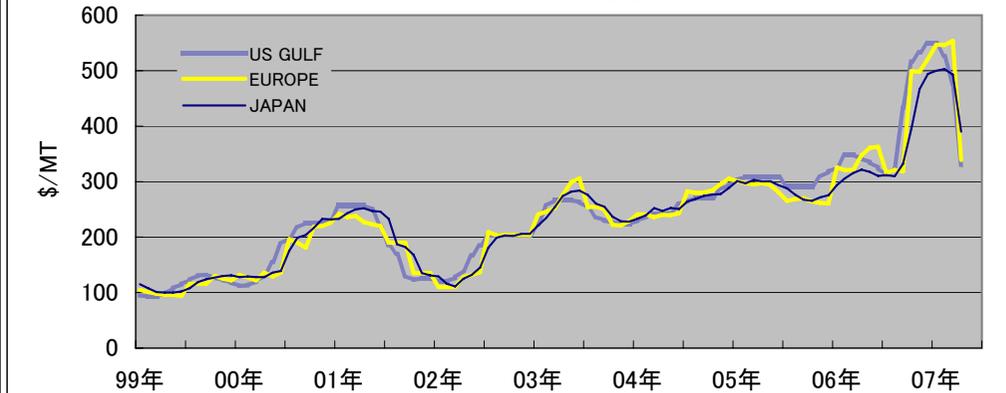
4. 経営環境

	2005年度実績		2006年度実績		2007年度予想		メモ
	1~6月	7~12月	1~6月	7~12月	1~6月	7~12月	
メタノール市況 (US\$/MT)	270~290	250~270	280~300	370~390	370~390	280~300	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	メモ
原料キシレン 公示価格(円/kg)	69	83	99	96	99	99	
ビスフェノールA (US\$/MT)	1,200 ~2,000	1,000 ~1,300	1,200 ~1,600	1,600 ~1,700	1,650 ~1,800	1,600 ~1,750	主要平均CIF価格
ポリカーボネート (US\$/MT)	3,200 ~3,300	3,000 ~3,300	2,900 ~3,100	2,400 ~2,750	2,400 ~2,700	2,350 ~2,700	日本からの輸出通関統計数値(FOB価格ベース)
為替 (円/US\$)	110	117	115	119	115	115	

電子材料売上高およびBT系材料販売数量の推移



メタノール価格推移



2006年度決算 説明会参考資料 (4/4)

2007年5月14日
三菱ガス化学株式会社

5. 単体業績実績・予想

(単位:億円)

	2005年度 実績	2006年度 実績	2007年度 予想	増減		メモ																																													
				05→06	06→07																																														
売上高	3,265	3,552	3,700	287	148																																														
天然ガス系化学品	842	1,022	1,080	180	58	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">売上高要因分析</th> <th rowspan="2">05年度</th> <th rowspan="2">06年度</th> <th colspan="3">対前年度</th> </tr> <tr> <th>増減</th> <th>数量要因</th> <th>価格要因</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>天然ガス系化学品</td> <td>842</td> <td>1,022</td> <td>180</td> <td>29</td> <td>151</td> </tr> <tr> <td>芳香族化学品</td> <td>991</td> <td>973</td> <td>▲ 18</td> <td>▲ 108</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>機能化学品</td> <td>923</td> <td>1,023</td> <td>100</td> <td>85</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>特殊機能材</td> <td>508</td> <td>534</td> <td>26</td> <td>4</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>▲ 1</td> <td>▲ 1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,265</td> <td>3,552</td> <td>287</td> <td>9</td> <td>278</td> </tr> </tbody> </table>	売上高要因分析	05年度	06年度	対前年度			増減	数量要因	価格要因	天然ガス系化学品	842	1,022	180	29	151	芳香族化学品	991	973	▲ 18	▲ 108	90	機能化学品	923	1,023	100	85	15	特殊機能材	508	534	26	4	22	その他	1	0	▲ 1	▲ 1	-	合計	3,265	3,552	287	9	278
売上高要因分析	05年度	06年度	対前年度																																																
			増減	数量要因	価格要因																																														
天然ガス系化学品	842	1,022	180	29	151																																														
芳香族化学品	991	973	▲ 18	▲ 108	90																																														
機能化学品	923	1,023	100	85	15																																														
特殊機能材	508	534	26	4	22																																														
その他	1	0	▲ 1	▲ 1	-																																														
合計	3,265	3,552	287	9	278																																														
芳香族化学品	991	973	1,014	▲ 18	41																																														
機能化学品	923	1,023	1,035	100	12																																														
特殊機能材	508	534	571	26	37																																														
その他	1	0	0	▲ 1	0																																														
営業利益	222	197	190	▲ 25	▲ 7																																														
営業外損益	36	118	140	82	22																																														
経常利益	258	315	330	57	15																																														
特別損益	▲ 58	▲ 67	0	▲ 9	67																																														
税引前当期純利益	200	248	330	48	82																																														
法人税、住民税及び事業税 法人税等調整額	53	45	65	▲ 8	20																																														
当期純利益	147	203	265	56	62																																														